

2018年3月期

東リ株式会社 決算説明会

(公益社団法人 日本証券アナリスト協会主催)



2018年 6月 4日 午後1時30分～午後2時30分

於：日本証券アナリスト協会 第2セミナールーム

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

2018年3月期 決算概要

連結売上高・利益の推移	P.4
経常利益の主な増減要因	P.5
連結貸借対照表概要	P.6
連結キャッシュ・フロー計算書概要	P.7
連結主要項目の推移(1)	P.8
連結主要項目の推移(2)	P.9
連結セグメント別実績	P.10

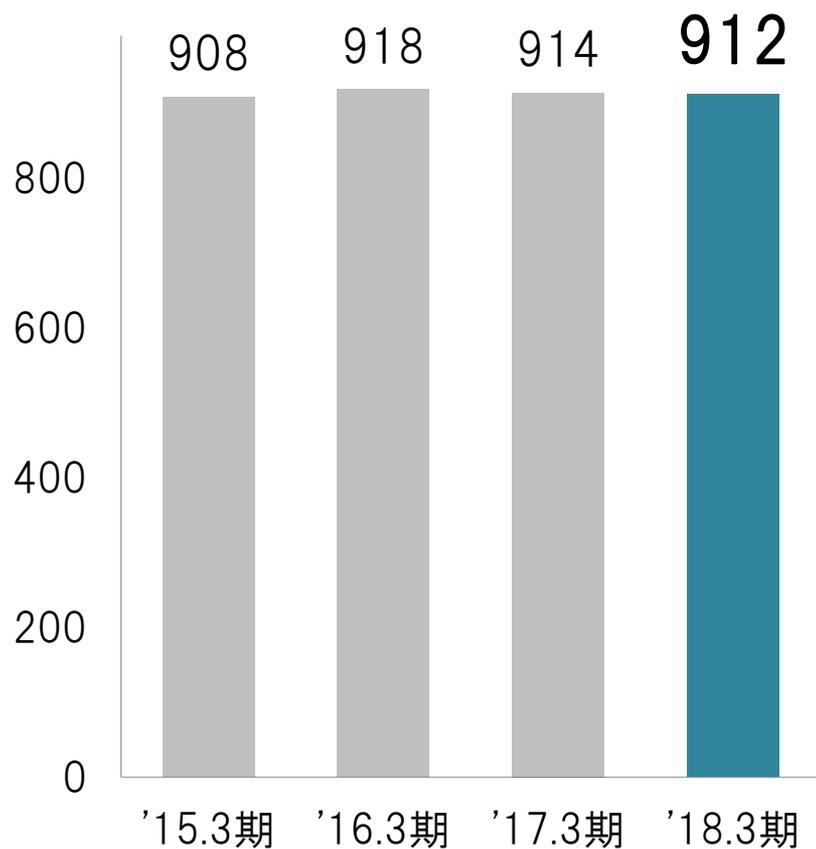
中期経営計画『SHINKA-100』

概要	P.12
フェーズⅠの振り返り	P.13
『SHINKA-100』フェーズⅡ	P.19
重点戦略	P.21
経営指標	P.25
成長へのシナリオ	P.26
2019年3月期 連結業績見通し	P.27
配当の状況(連結)	P.28

2018年3月期 決算概要

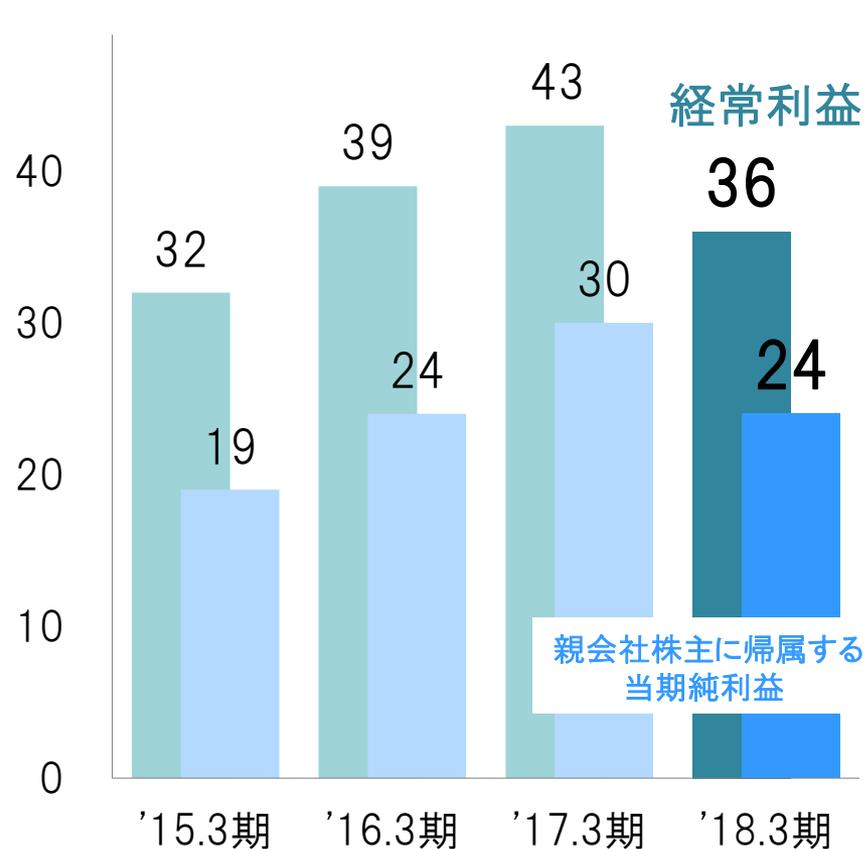
売上高の推移

(億円)

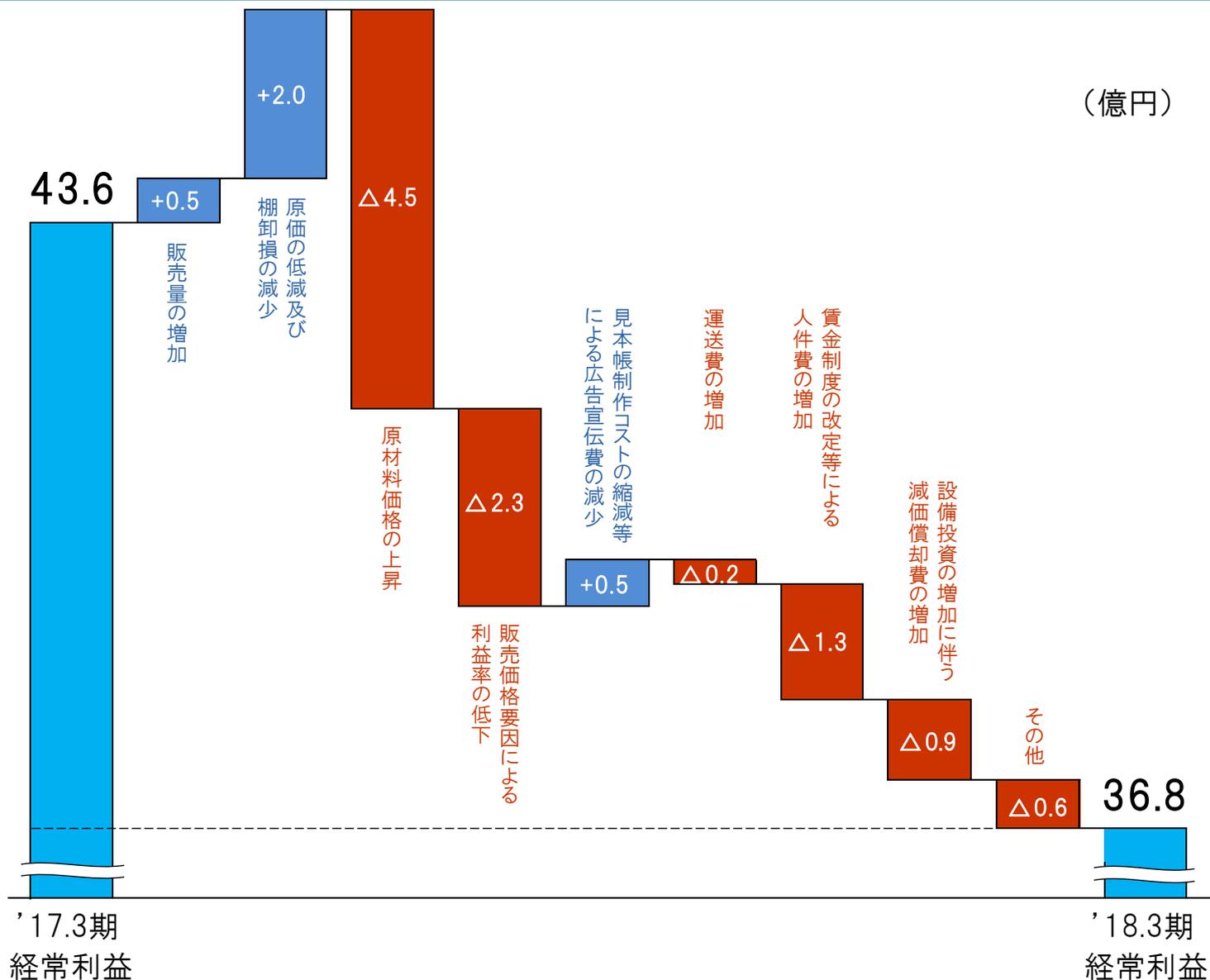


利益の推移

(億円)



経常利益の主な増減要因



連結貸借対照表概要



(億円)

	2017年 3月末	2018年 3月末	増減		2017年 3月末	2018年 3月末	増減
流動資産 計	480	490	+9	流動負債	298	296	△ 2
固定資産 計	274	286	+12	固定負債	120	122	+1
資産 計	754	777	+22	負債 計	419	418	△ 1
				株主資本	315	334	+18
				純資産 計	335	358	+23
				負債及び 純資産 計	754	777	+22

<資産>

2017年3月末比

現金及び預金	△11
受取手形及び売掛金	+10
棚卸資産	+9
機械装置及び運搬具	+5
ソフトウェア仮勘定	+8

<負債及び純資産>

2017年3月末比

未払法人税等	△3
利益剰余金	+18
その他有価証券評価差額金	+3

連結キャッシュ・フロー計算書概要



(億円)

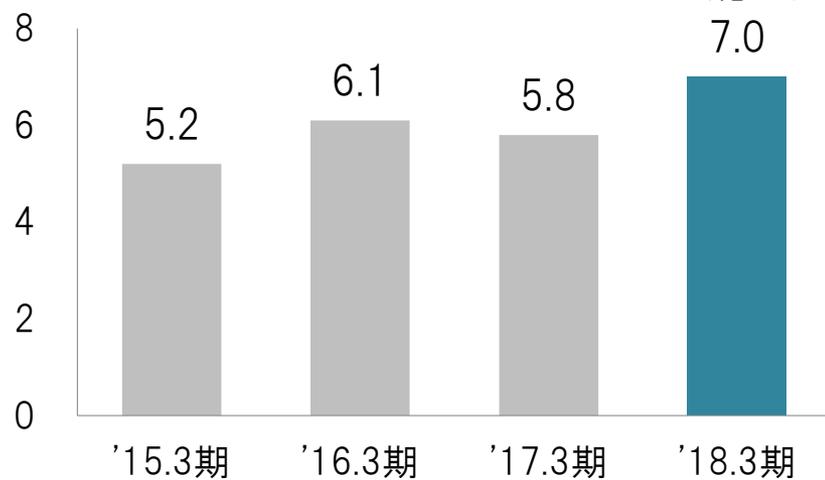
	2017.3期	2018.3期	増減
税金等調整前当期純利益	43	36	△ 7
売上債権の増減額	2	△ 9	△ 11
たな卸資産の増減額	△ 0	△ 9	△ 9
仕入債務の増減額	△ 1	8	+9
営業活動によるキャッシュ・フロー	51	26	△ 25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 22	△ 26	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15	△ 12	+3
現金及び現金同等物の増減額	13	△ 12	△ 26
現金及び現金同等物の期末残高	103	91	△ 11

連結主要項目の推移(1)



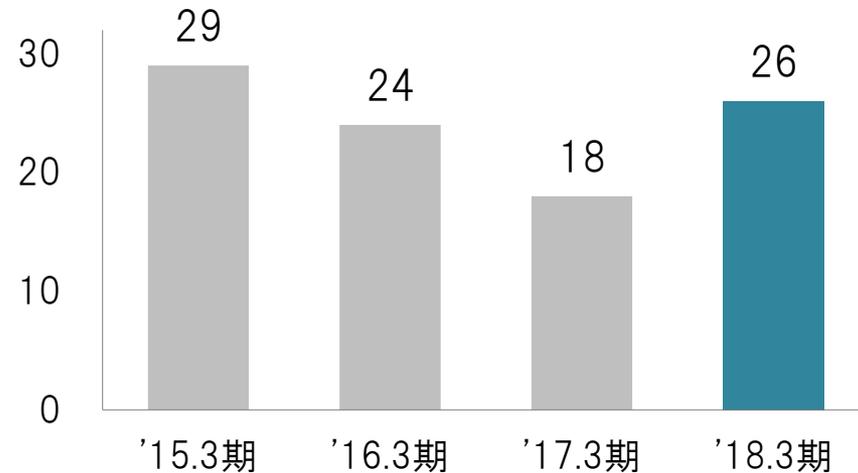
① 研究開発費

(億円)



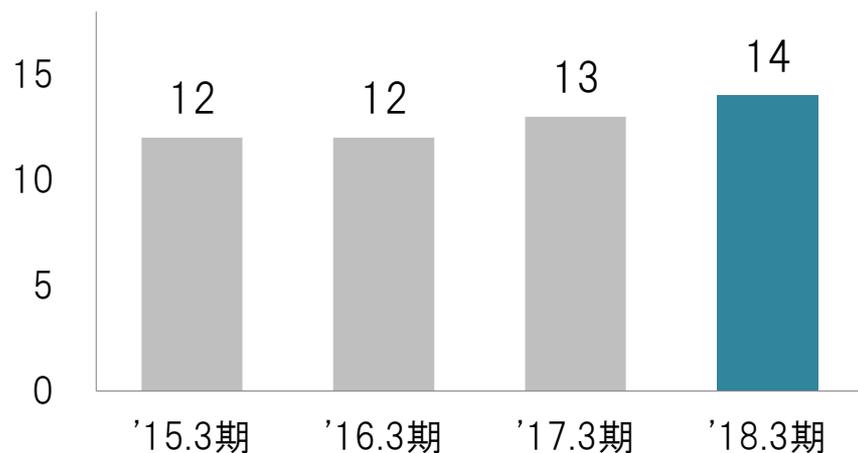
② 設備投資額

(億円)



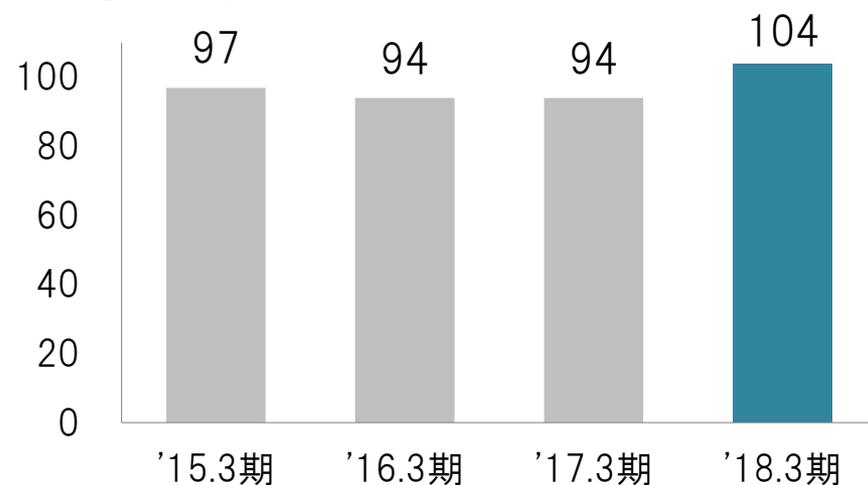
③ 減価償却費

(億円)



④ 棚卸資産

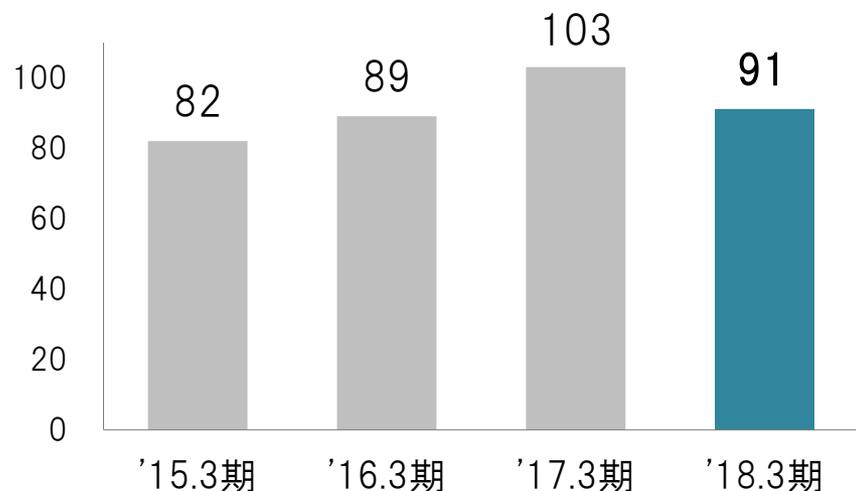
(億円)



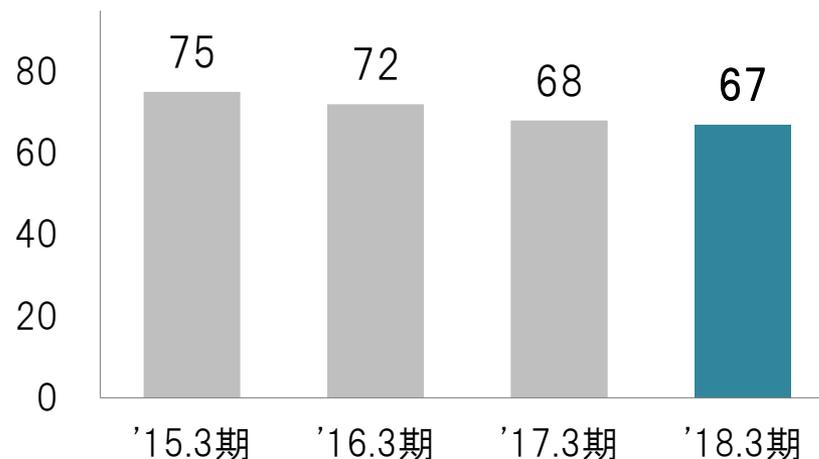
連結主要項目の推移(2)



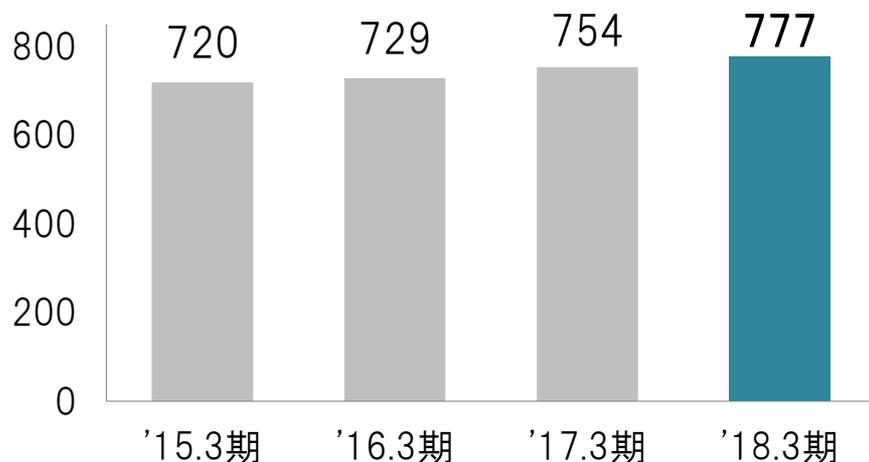
⑤ 現金・現金同等物残高 (億円)



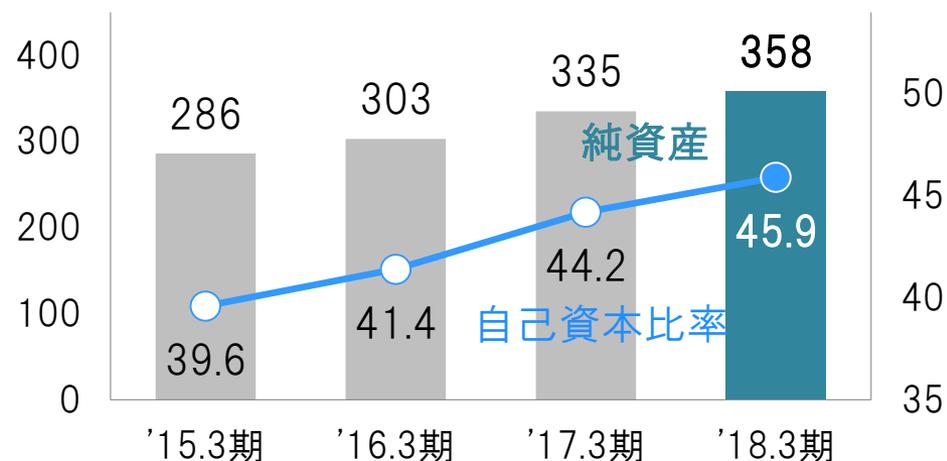
⑥ 借入金残高 (億円)



⑦ 総資産 (億円)

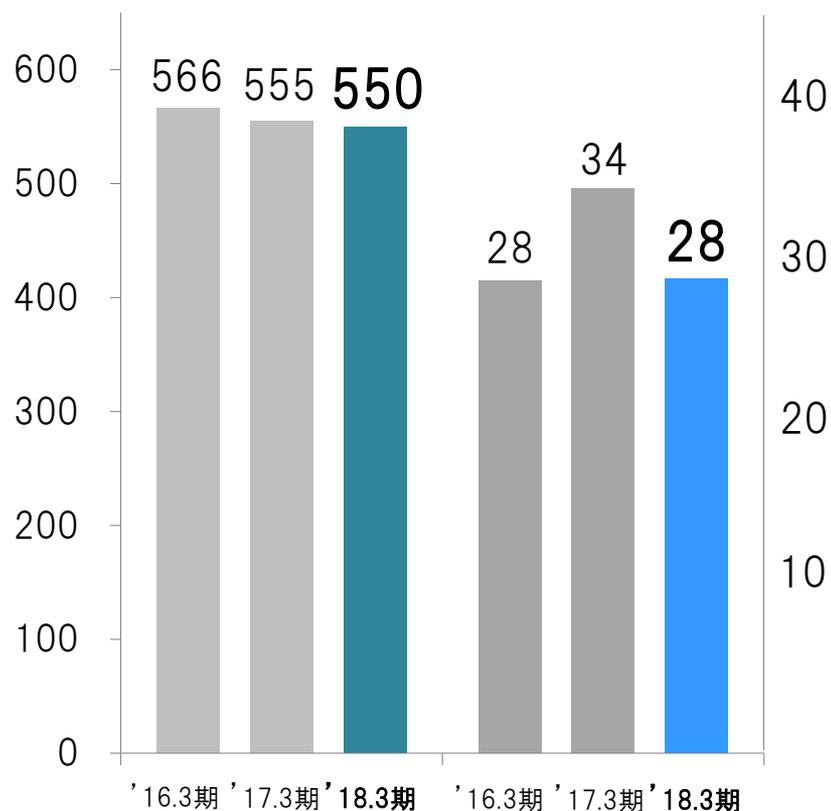


⑧ 純資産/自己資本比率 (億円/%)



プロダクト事業

(億円)

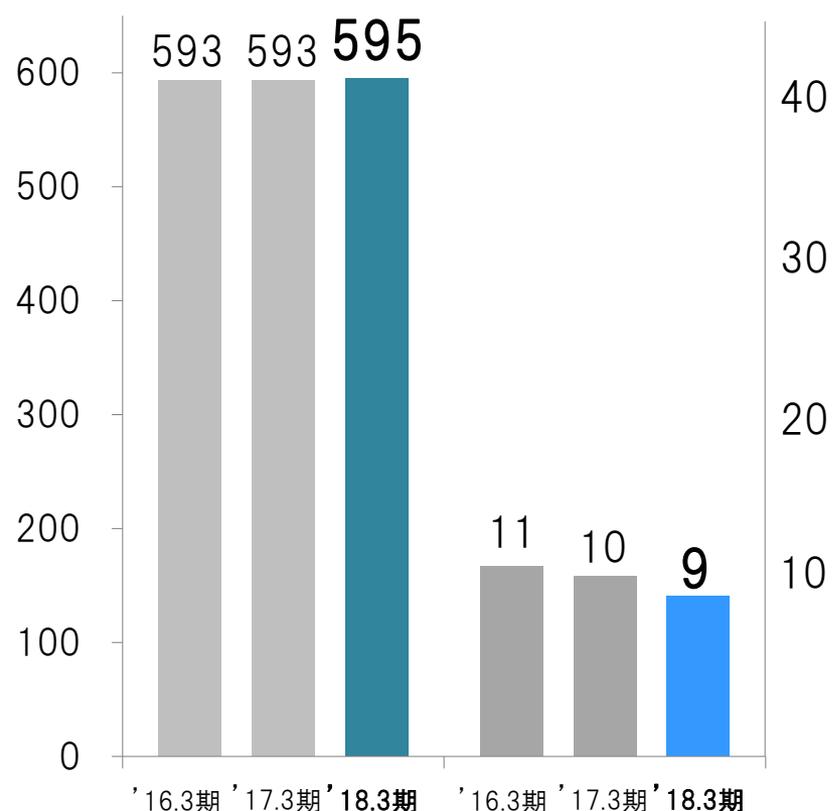


売上高

セグメント利益

インテリア卸及び工事事業

(億円)



売上高

セグメント利益

中期経営計画『SHINKA-100』

東リグループ

中期経営計画『SHINKA-100』

(フェーズⅠ：2015～2017年度／フェーズⅡ：2018～2020年度)

中期経営計画『SHINKA-100』(6カ年)

フェーズⅠ(3カ年)

フェーズⅡ(3カ年)

2015
年度

2016
年度

2017
年度

2018
年度

2019
年度

2020
年度



『創業百年』

■ 重点戦略

“3つの「SHINKA」”フェーズⅠ

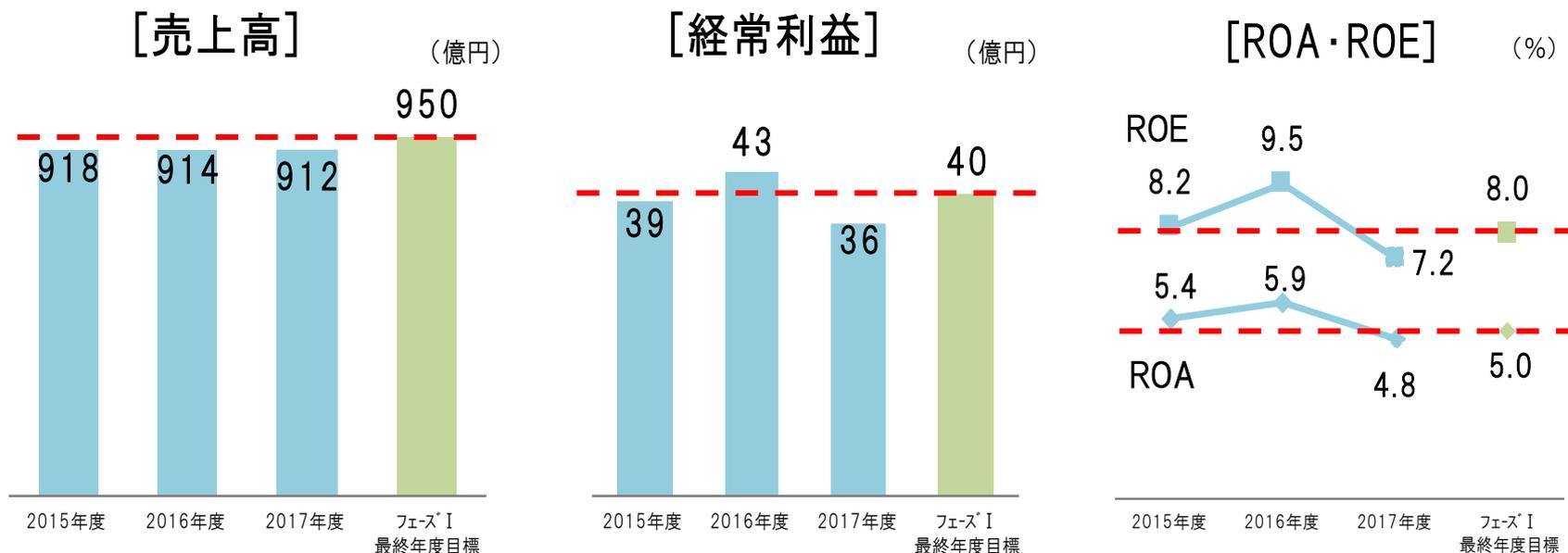
①「進化」 ～コア事業の成長と発展～

②「深化」 ～グローバル事業展開の拡大～

③「真価」 ～成長と発展のための事業基盤の整備～

■ フェーズⅠ期間内の実績

◇ 連結経営指標



ROA：総資産経常利益率
ROE：自己資本純利益率

- ・ 売上高目標については、3カ年を通じ未達
- ・ 2年目(2016年度)に経常利益・ROA・ROEの3つの指標で目標水準に達するものの最終年度では未達

■ フェーズ I 期間内の主な成果 ①

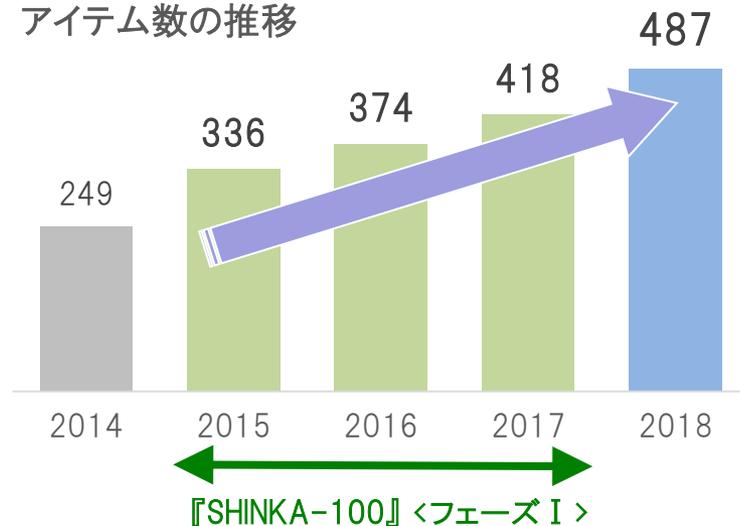
◇ 独自商品の拡大

⇒ ワックスメンテナンス不要な床材
「NWシリーズ」の拡充

⇒ 「不燃腰壁シート」の開発

⇒ 新継ぎ目接着工法
「ジョイントシールド工法」の開発 (特許出願中)

NWシリーズ
アイテム数の推移



■ フェーズⅠ期間内の主な成果 ②

◇次世代を支える基幹商品の開発・発売

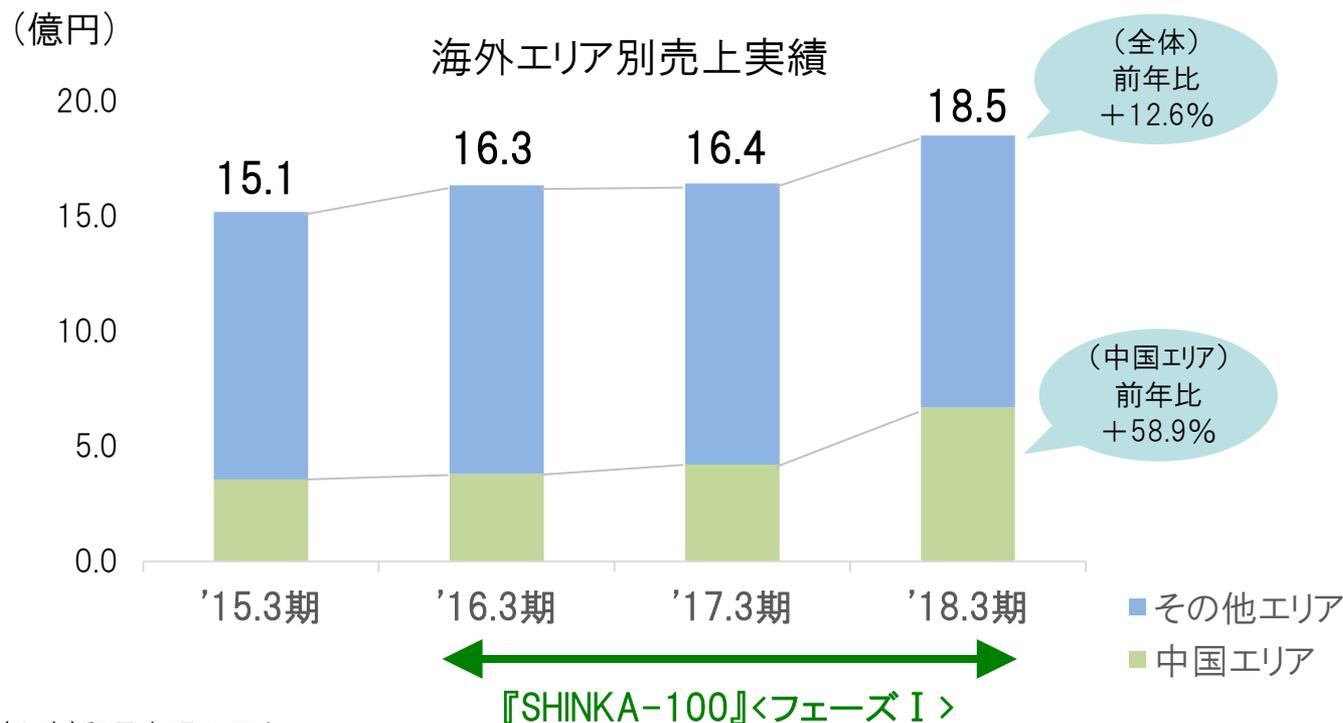
- ⇒ 新タイルカーペット「GA-100T」の開発・発売
汎用品の枠を超えたボリューム感と質感の高さが特長



■ フェーズⅠ期間内の主な成果 ③

◇ 東璃(上海)貿易有限公司の売上拡大

⇒ 現地法人設立による着実な市場浸透



※ '18.3期より東璃(上海)貿易有限公司を連結の範囲に含めております。

■ フェーズⅡへの積み残し課題

- ◇ 種まき営業活動の拡大
- ◇ 業際市場に向けた商品開発
- ◇ 市場別販売戦略の実践
- ◇ 海外市場対応商品の開発
- ◇ 更なる利益体質への取組み

フェーズⅠにおける成果と反省をふまえ、
フェーズⅡでは、**未来志向を高めた**成長戦略を推進

東リグループ

中期経営計画『SHINKA-100』

(フェーズⅠ：2015～2017年度／フェーズⅡ：2018～2020年度)

中期経営計画『SHINKA-100』(6カ年)

フェーズⅠ(3カ年)

フェーズⅡ(3カ年)

2015
年度

2016
年度

2017
年度

2018
年度

2019
年度

2020
年度

『創業百年』

■ 『SHINKA-100』フェーズⅡの位置づけ

- ◇ 2019年度に『創業百年』を迎える
- ◇ 「百年の先」に向けた更なる発展性を追求

■ 東リグループが目指す姿

- ◇ コア事業（床材事業とカーペット事業）の再強化
- ◇ “明日の成長エンジン”を育む
- ◇ 事業基盤の整備強化

■ 重点戦略

“3つの「SHINKA」”フェーズⅡ

①「進化」 ～コア事業の進展と創造～

②「深化」 ～深掘りによる成長性の追求～

③「真価」 ～成長と信頼を支える事業基盤の強化～

3つの「SHINKA」を更にバージョンアップ
新たな取組み課題を加え、成長戦略を明確に描く

■ 重点戦略

①「進化」 ～コア事業の進展と創造～

◇フェーズⅠで推し進めたコア事業の成長戦略を更に進化させると共に、「百年の先」を見据えたハードルの高い技術開発に挑戦し、事業領域の拡大によるコア事業の創造を図る。

取
組
み
テ
ー
マ

- ◎ 技術研究・製品開発の強化
- ◎ 商品力のレベルアップ
- ◎ 生産拠点・物流体制の最適化実現
- ◎ 業際事業探索活動の推進
- ◎ 商品提案力の強化

■ 重点戦略

②「深化」 ～深掘りによる成長性の追求～

◇成長戦略を更に深掘りし、質的・量的拡大を図る。10億円プロジェクトや海外事業など、“明日の成長エンジン”を育み、力強い事業構造へと変革していく。

取
組
み
テ
ー
マ

- ◎ 10億円プロジェクトの推進
- ◎ 海外事業の拡大
- ◎ CR(コホート・リレーション)活動の強化推進
- ◎ 壁装材事業の深化
- ◎ カーテン事業の再建

■ 重点戦略

③「真価」 ～成長と信頼を支える事業基盤の強化～

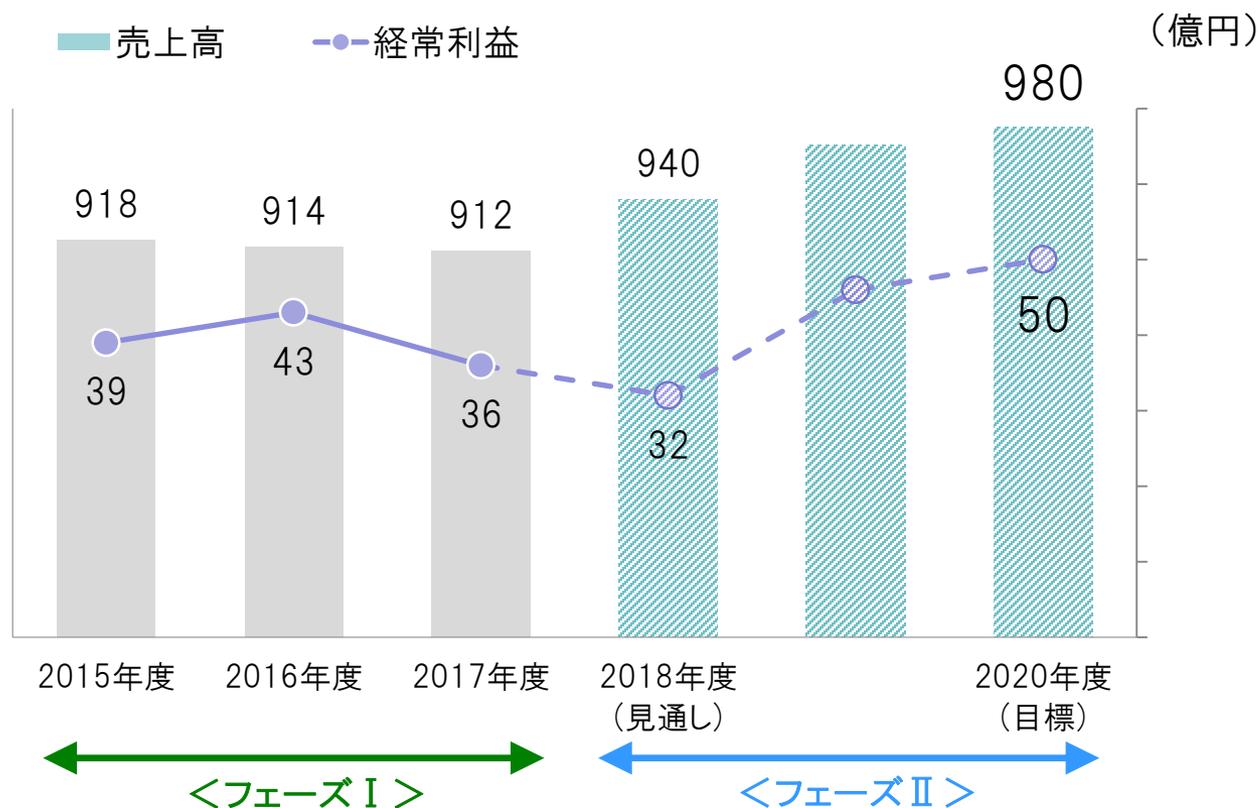
◇事業の成長と発展に向けて、ブランド力や品質への信頼を高めながら、あらゆる面での効率化を図り、より筋肉質な企業グループを構築し、事業推進力を高めていく。

取
組
み
テ
ー
マ

- ◎ 製造原価率圧縮への挑戦
- ◎ 人材育成
- ◎ 企業価値の向上
- ◎ 業務改善の実現とIT進化への対応
- ◎ SCM強化とBCP推進

■ 連結経営指標(2020年度)

売上高	980億円	経常利益	50億円
ROA	6.0%以上	ROE	8.5%以上



■ フェーズⅡ 成長へのシナリオ

- ・10億円プロジェクトの推進
- ・CR活動強化によるシェア拡大
- ・海外事業の質的・量的拡大

+ α ホテル市場深耕、チャネル政策(壁装・カーテン)、業際への取組み

- ・価格改定効果の浸透
- ・製造原価率圧縮への取組み

+ α 輸配送効率化など、販管費縮減への取組み

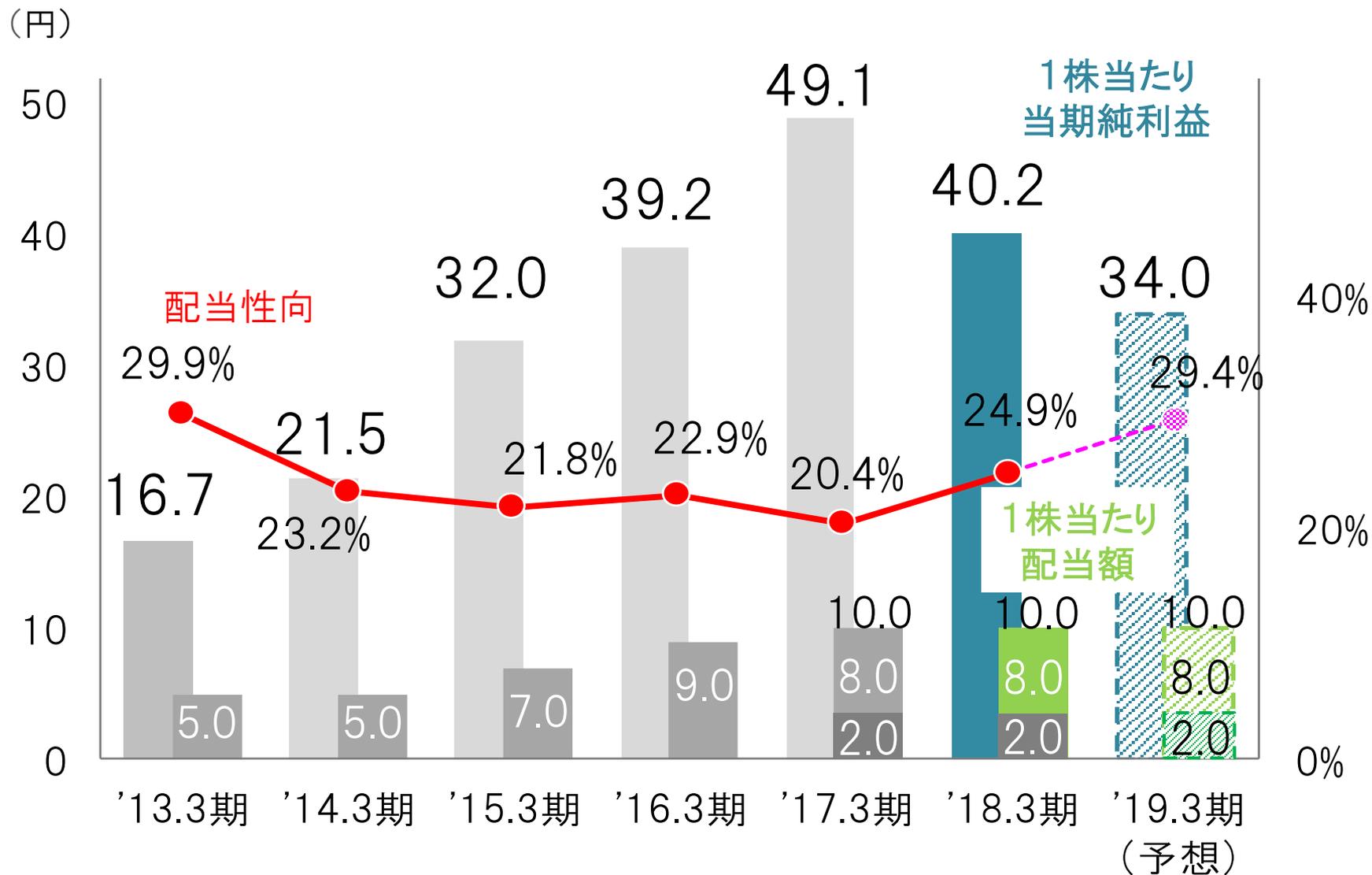


売上高:980億円、経常利益:50億円

(億円)

	2018.3期 実績	2019.3期 業績見通し	前期比
売上高	912	940	+3.0 %
営業利益	35	31	△12.0 %
経常利益	36	32	△13.1 %
親会社株主に帰属 する当期純利益	24	21	△15.3 %

配当の状況（連結ベース）



2018年3月期 東リ株式会社 決算説明会

(公益社団法人 日本証券アナリスト協会主催)



ありがとうございました